



2015 年 新年号

プレス 会報

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

目 次

◆平成 27 年 年 頭 所 感	
関 総 一 郎 近畿経済産業局長	1
松 井 一 郎 大 阪 府 知 事	3
夏 山 享 啓 大阪金属プレス工業会会長	5
◆国 内 見 学 会 の ご 報 告	7
◆委 員 会 活 動 報 告	8
◆平成 27 年 新春の集いのご案内	9
第 1 部 新春特別講演会	
第 2 部 賀 詞 交 歓 会	
◆技術セミナーのご案内	
プレス機械作業主任者技能講習	11
もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型	13
基礎から学ぶ機械製図・測定実践技術	15
◆見学会のご案内	
インドネシアジャカルタ視察ツアー	別紙
オムロン（株）草津工場	17
◆大阪府労働局からの告知	18

工業会からのご連絡

- 新春特別講演会、賀詞交歓会ご参加の方でお申込みされていない方はお申込み下さい。
- 技術セミナーはそれぞれお申込先が違いますのでご確認の上直接お申込み下さい。
- インドネシア ジャカルタ視察ツアーは、訪問先企業や見どころを記載しています。
まだ空きがございますので、二度とないこの機会に是非お申込み下さい。

一般社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>



年頭所感

近畿経済産業局長 関 総一郎

平成 27 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、円安の進行、消費増税とその後の消費の反動減、雇用情勢の改善と人手不足、原油価格の低下など、企業経営を取り巻く環境は目まぐるしく動き、難しい対応が迫られた 1 年となりました。今年は、個人消費の回復、設備投資の拡大、外需の取り込みなどを通じて新たな成長ステージに移行できるかどうか問われる正念場です。

関西のおかれる状況を見ますと、工業生産は、ここ 3 年ほど一貫して全国平均を上回る推移を見せています。関西の製造業は、特定の産業に依存するのではなく、バランスのとれた構造で、優れた技術を誇る企業が厚く集積し、強い総合力を持っています。また、街では、再開発プロジェクトの完成やテーマパークの拡大、海外観光客の増加など、観光・物販に明るい材料も見られます。課題は、これらの強み、明るい材料がまだら模様となっていることです。

近畿経済産業局としましては、中小企業の置かれた厳しい環境や地方都市が直面するさまざまな課題に丁寧目配りをし、きめ細かく対応するとともに、明日の関西をけん引する産業の育成に全力を挙げてまいります。

以下に当局が今年重視するキーワードと 4 つの重要分野に触れさせていただきます。

まず、今年のキーワードはネットワーク力の再生・強化です。

関西では、地域・業種・規模を超えた企業間のネットワークが優れた製品を生み出す豊かな土壌を形作っています。一方で課題もあります。近年の生産体制のグローバルな再編が進行する中で、これまで緊密だった川上企業と川下企業の関係に変化がみられる部分があります。また、優れた技術を持ちながらも廃業に迫られる企業も少なくありません。

関西が新たな輝きを増すためには、企業相互のネットワーク力を、新たな環境の中でもう一度構築しなおす努力を意識的に強める必要があります。当局では企業ネットワークを構築・強化する取組への支援を充実させます。

次に重要分野ですが、一つ目はライフサイエンスです。関西は世界最先端の研究機関と関連産業が集積し、国家戦略特区でも数多くの提案を行っています。当局としては、この地域の強みを活かし、橋渡し研究の支援、医工連携の充実に一層力を入れてまいります。特に、異分野から医療機器市場に参入されようとする企業に対して、製品企画、開発、規制への対応などの一連のステージを貫くサポートを行います。

二つ目はインバウンドの強化です。関西は世界にアピールできる魅力の宝庫です。それを活かすためには、関西を外国人にとって、さらに暮らしやすく、動きやすく、学びやすく、楽しみやすいエリアとすることが必要です。観光、対内直投、留学生などの各テーマを横串でさして、「外国人本位の視点」で関西の課題を見つめなおす必要があります。当局では、様々な外国人・外国企業の声を集め、皆様に提供し、2020年に向けたアクションを幅広い関係者と一緒に考えてまいります。

三つ目はエネルギーです。昨夏、電力需給逼迫が懸念されましたが、皆様のご協力により何とか乗り切ることができました。他方、関西には電気・電子製品等のエネルギーに関連する企業が数多く存在しています。関西でより多くの中小企業やベンチャー企業と大学や川下企業が連携し、スマートエネルギー分野のイノベーションが活発化するよう取り組みます。

四つ目はサービス産業の強化です。地域の暮らしと雇用に果たすサービス企業の役割には誠に大きいものがありますが、他方で、この分野の高付加価値化やイノベーションにはまだまだ光が当てられていません。政府は「日本サービス大賞」を設けるなどの新たな政策を予定しています。当局としても、地域の輝きを増すサービス企業の支援を強化します。

今年も当局は、職員挙げて皆様の生の声をできるだけたくさん伺うよう努めてまいります。本年も当局の施策に目を配っていただき、最大限にご活用いただきますよう、改めてお願い申し上げます。結びに、本年の皆様方の御発展と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



平成27（2015）年 知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎

あけましておめでとうございます。

昨年は、青色LED開発に対するノーベル物理学賞が授与され、iPS細胞を用いた再生医療の世界初の臨床研究がスタートするなど、日本の科学技術力の高さに世界の注目が集まりました。また、日本、そして大阪でも日本一の高さを誇るあべのハルクスの開業もあって、外国人旅行者数が過去最高を記録するなど、景気回復に向けた明るい兆しが見えた年でもあります。

府政においては、大阪の成長戦略を推進し、成長と安全・安心のよき循環の実現を目指した取り組みを進めてきました。健全で規律ある財政運営の確保を図りつつ、第3セクターの株式売却収入を活用したストック組み換えなど、政策の刷新を図った結果、危機的な財政状況から脱却できる見通しが見えてきたところです。知事としての任期最終年となる今年は、これまでの成果を定着させ、大阪のさらなる発展を見通す「仕上げの年」としたいと思います。

観光集客については、2020年の目標である来阪外国人旅行者数650万人の達成に向けて、大阪の都市魅力をさらに高めていく必要があります。今年は、新たな大阪のまちづくりの契機となった大坂の陣、道頓堀川開削から400年など、さまざまな節目が重なる年です。この2015年度を、大阪の都市魅力を発信する「シンボルイヤー」として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたキックオフの年とも位置づけ、「大坂の陣400年天下一祭」「水都大阪2015」「大阪・光の饗宴」等の取り組みやラグビーワールドカップの誘致など、都市魅力の創造と内外からの集客を戦略的に展開していきます。

成長の源泉となるイノベーション創出と、世界最高のビジネス環境整備にも力を注いでいきます。その突破口となる国家戦略特区については、昨年9月の区域計画認定により、まずは医療分野において新たな一歩を踏み出しました。今後、大阪大学や国立循環器病研究センターなどでの保険外併用療養や「雇用労働相談センター」の実現をはじめとする特区提案の更なる具体化を通じて、岩盤規制を打ち破り、スピード感を持って規制緩和を実現していきます。

その拠点のひとつである「うめきた」は、世界中から人材、資金、情報を呼び込むためのリーディングプロジェクトとして、2 期のまちづくりの方針の策定を踏まえ、民間の力を活かして都市形成を着実に進めてまいります。

関西国際空港は、国際拠点空港としての機能の再生及び強化などを図るため、大阪国際空港と合わせ運営権売却の手続きが進んでいます。今後、LCCなど、航空ネットワークの充実が図られ、関西の活性化に資することを期待しています。鉄道ネットワークの充実や公共交通の利便性向上についても、都市の成長・魅力向上や、府民の暮らしの充実を図るため、昨年策定した「公共交通戦略」に基づき取り組んでいきます。

人口減少が続くなか、女性が輝く社会づくりや、将来世代への投資は重要です。OSAKAしごとフィールドに「働くママ応援コーナー」を設置し、女性の就業促進と社会進出を支援していきます。また、子ども・子育て支援新制度の実施に合わせ、乳幼児医療を含む子育て支援サービスの水準向上に向け市町村を支援する方向で考えています。引き続き、市町村との適切な役割分担のもと、広域自治体として、社会が持続するための不可欠な施策やサービスをしっかりと担ってまいります。

府民生活の安全・安心は、行政の基本的な使命です。昨年から防潮堤の液状化対策など津波浸水対策、地震による火災・倒壊被害が想定される密集市街地対策を先行的に実施しています。新しい地震防災アクションプランに基づき、今後とも、こうしたハード整備やソフト対策に精力的に取り組めます。

知事に就任して以降、橋下大阪市長とともに府市協調・連携して大阪の再生に取り組んできました。この仕組みを定着させるため、新たな大都市制度の実現が必要です。特別区の設置について、最終的には住民の皆さんにご判断いただきたいと考えています。

大阪が変われば日本が変わると確信しています。改革を着実に進め、東西二極の一極を担う「強い大阪」を目指してまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭のご挨拶



(一社)大阪金属プレス工業会
代表理事 夏山 享 啓

新年明けましておめでとうございます。
平素より当工業会の事業運営に関し会員の皆様方をはじめ、関係行政機関、並びに関連諸団体の方々より多大なる御支援御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を少し振り返ってみますと政治の世界では 12 月に師走の衆議院選挙があり自民党が圧勝し、第三次安倍政権が発足致しました。本年はアベノミクスの 3 本の矢の中で最も景気に影響を及ぼすであろう成長戦略に期待がかかる年でございます。どうか、方向を間違わず中小企業者に迄、少しでも明るさが戻る政策をどんどん実行してもらいたいと願っております。

経済面では、昨年 4 月より消費税が 5 → 8 % に増税されました。当初の予定よりも消費の停滞が長引き円安の進行で期待された輸出も低調である事など芳しくない状態が続いています。増税の影響は当初 14 年夏頃迄に落ち着くと見られていましたが、所得の増加が不十分だったこともあり予想以上に長引く結果となっております。現状を顧み、消費税率 10 % への実施は 1 年半先送りされましたが、それ迄にぜひ規制緩和による投資の促進など、先程も申し上げましたが政策を総動員して欲しいと願っております。

さて、プレス業界の話題と言えば、まず春の叙勲で大阪金属プレス工業会前会長の吉田隆司様が旭日小綬章の栄に浴されました。又、日本金属プレス工業協会におきましては、発足 50 周年を迎え、11 月 21 日に東京会館にて記念式典が催されました。さらに 5 月 31 日には、協同組合京都府金属プレス工業会も 50 周年を迎え記念式典が行われました。本年は愛知県プレス工業会が 50 周年を迎えられ、我々大阪金属プレス工業会も来年（平成 28 年）に 50 周年を迎える運びとなっております。我々の先輩達が業界発展の為御苦労され、各団体が発足し半世紀を越える事になりました。今後 60 周年 70 周年に向けてさらに業界が発展する様に鋭意努力して参る所存でございます。よろしく御協力の程お願い申し上げます。

ところで、我が国の製造業界も自動車、弱電業界をはじめ生産拠点の海外移転の加速等、我々中小企業を取り巻く事業環境は益々厳しさを増しております。然しながら、我々の存在無くして 1 台の車も 1 台のテレビも完成させる事は出来ません。正に完成品メーカーの底辺を支える基盤産業であると自負しております。非常に厳しい状況が続きますが本年も昨年以上に皆様方のお役に立つ事業をタイムリーかつ積極的に展開して参る所存でございます。

どうぞ昨年同様、いやより一層の御協力を頂きます様お願い申し上げます。

少し話は変わりますが、当工業会では新たに活性化委員会を発足し積極的に事業活動を行っております。又、2 月に開催予定の理事会におきまして従来の委員会組織の見直しも考えております。少しでも当工業会が魅力ある又、まさしく活性化された事業活動を行い新たな会員の増強につなげたいと思っております。

本年は乙未(きのとひつじ・いつび)で十二支の第 8 番目にあたり西暦年を 12 で割り余りが 11 になるのが未年です。

未の形象は木の枝葉が茂っている形を表し、茂っているためよく見えない打ち消しの言葉(いまだ・まだ)という説がございます。

又、果実が熟し滋味がよくなることから、美味しい味の意味もあるようです。過去の未年とは言いますと 12 年前(2003 年)は大和銀行とあさひ銀行が合併し、りそな銀行が発足。又、個人情報保護法が成立。その 12 年前(1991 年)は 1 月に湾岸戦争勃発、そして 1979 年はソニーのウォークマン発売、広島カープが球団創設 30 年目にして日本一となった年でございます。さて、今年は一体どんな年になるのでしょうか?仲間との協調性を保ち厳しい環境にも適応する能力を持つ羊のように柔軟な適応能力でこの困難な経営環境を乗り越えればと願っております。

いずれにしましても、大阪金属プレス工業会にとってより良い年になる様に精一杯の努力をして参る所存でございます。どうぞ繰り返しになりますが昨年以上の御支援、御協力を賜ります様お願い申し上げます。

最後になりますが、本年が会員の皆様方にとって良い年になります様、祈念致しまして年頭のごあいさつにかえさせていただきます。

国内見学会のご報告

東海鉄工(株)、久野金属工業(株)を訪問しました

11月12日(水)貸切りバスにて愛知県の金属プレス関連の会社を2社見学致しました。
参加者は計28名と沢山の方に参加して頂きました。

『東海鉄工株式会社(愛知県豊田市)の紹介』

資本金2,010万円、自動車部品を中心とした金属プレス加工業。パーキングブレーキ部品や商用車のシートヒンジなどを中心に製造され、主な納入先はトヨタ車体(株)である。

(見学の内容、感想)

最初に会社のご説明があって、2班に分かれて見学を致しました。順送プレス、オーオフィーダー、溶接ロボットなど、狭いスペースの中で省人化、合理化の工夫をされている様子を見学致しました。また物流面において工夫され、ご苦労されている様子をご説明頂きました。



東海鉄工(株)のご説明

『久野金属工業株式会社(愛知県常滑市)の紹介』

資本金8,000万円、自動車のプレス部品を中心に、製品設計、金型設計・製作からプレス加工、溶接、組立、表面処理に至るまで一貫生産体制を確立している。

(見学の内容、感想)

最初に会社のご説明があり、2班に分かれて見学を致しました。広い敷地に広い建屋でプレス機100台以上は圧巻でした。材料(コイル)や金型、製品など自動搬送される様子など、見学された皆さんも関心され、規模の大きさに圧倒された様子でした。



久野金属工業(株)のご説明

帰りのバスの中では、参加された皆様の自己紹介や、見学の感想などを、おひとりずつ述べて頂き、「大変参考、勉強になった」「良い見学会だった」とのお言葉を頂き、トラブルもなく無事に終了いたしました。

また次回の見学会にも沢山の会員様のご参加をお待ちしております。

委員会 活動報告

委員会、開催日時、場所	内 容	参加者	写 真
<安全・技術委員会> 11月6日 18時 工業会事務所	・前期技能検定の結果 ・上期事業報告 ・上期収支報告 ・活性化委員会の報告 ・OSAKA-MONO.net	6名	
<総務委員会> 11月13日 18時 工業会事務所	・上期事業報告 ・上期収支報告 ・上期会員異動状況 ・活性化委員会の報告 ・OSAKA-MONO.net ・入会パンフレット制作	5名	
<経営委員会> 11月18日 18時 工業会事務所	・上期事業報告 ・上期収支報告 ・活性化委員会の報告 ・OSAKA-MONO.net	4名	
<活性化委員会> 11月26日 18時 たかつガーデン「藤」	・ポリテクセンターご説明 ・国内見学会の報告 ・海外視察ツアーの概要 ・研修会、セミナーの進捗 ・新規HP制作 ・入会パンフレット	10名 他来賓 4名	

※参加者名簿、内容の詳細は当会HPの事業報告ページに記載の議事録をご覧ください。

平成27年 新春特別講演会・新年賀詞交歓会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成27年を迎えるにあたり、会員企業各位をはじめ、関係行政機関及び関連団体の方々にもお越しいただき、恒例の新年賀詞交歓会を下記のとおり開催させていただきます。

つきましては、年初なにかとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

尚、賀詞交歓会に先立ち、新春特別講演会を開催致しますので、併せてご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます

敬 具

記

【日 時】 平成27年1月27日(火)

第1部 新春特別講演会 15:30～17:00

演題:「企業連携で時代を切り拓く、京都試作ネットの底力とは？」

講師: 竹田正俊氏 (株式会社クロスエフェクト 代表取締役)

※詳細プロフィールは別紙をご参考下さい。

第2部 新年賀詞交歓会 17:20～19:30

【会 場】 ホテルモントレ ラ・スール大阪 (大阪市中心区城見2丁目2-22)

第1部 新春特別講演会 2階 「彩華 (さいか)」

第2部 新年賀詞交歓会 15階 「キャナルガーデン」

【参 加 費】 特別講演会 無 料/人

賀詞交歓会 10,000円/人

(振込先) 三菱東京UFJ銀行 上本町支店

口座番号 普通 0487575

(一社) 大阪金属プレス工業会

(一社) 大阪金属プレス工業会宛

Fax : 06-6762-7633 E-Mail : omsa1@omsa.or.jp

平成27年 新春特別講演会・新年賀詞交換会 参加申込書

会 社 名				○印お願いします
役 職 名	氏 名	講演会	賀詞交換会	
お支払い方法	☐ 振込 (/ 予定) ☐ 当日払			

<新春特別講演会 講師ご紹介>

竹田 正俊 氏 (たけだ まさとし)

株式会社クロスエフェクト 代表取締役
株式会社クロスメディカル 代表取締役
京都試作ネット 代表理事

(プロフィール)

1973 年京都市伏見区生まれ。1996 年立命館大学卒業後、米国カリフォルニア州に留学。2000 年クロスエフェクト創業。2001 年株式会社クロスエフェクト法人設立に伴い代表取締役に就任。2006 年京都試作ネット副代表理事、2011 年京都試作ネット代表理事就任。2011 年医療系臓器シミュレーター開発を主とした株式会社クロスメディカルを設立し、代表取締役に就任。2013 年には第 5 回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞を受賞。その他、大阪大学非常勤講師、公益財団法人京都産業 21 理事なども勤め現在に至る。



会社の特徴

創業から 13 年。光造形技術を使いロボットや自動車部品をはじめ、あらゆる分野の開発試作モデルの製造を手掛け成長を遂げてきた。2011 年、株式会社クロスメディカルを設立して術前シミュレーション用心臓モデルの開発・販売に乗り出した。CT データを活用し、患者ごとの正確な心臓モデルを作ることで、リアルな術前シミュレーションが可能になり施術リスクを限りなく少なくする。また、心臓モデルを教材として利用し、若手医師の育成に絶大な効果を生む。そして現在、世界中の医療現場から引き合いを受けている。2013 年、第 5 回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞。

昨今、中小製造企業が中国・東南アジアへ浮足立って進出する中、安易な手持ち技術の移転による海外への業務展開は行わない。その信念と決断は、竹田正俊社長の経験とドラッカーの示す企業理論に由来する。2011 年、京都試作ネット 3 代目の代表理事にも就任した。「英語が話せなくとも海外進出はできる」をスローガンに、グループ 100 社の舵を取る。

TV 放映&CM

日本テレビ 「世界一受けたい授業」
NHK WORLD 「HEART TO HEART」、「Science View」
日本テレビ 「未来シアター」
NHK スペシャル 「メイド・イン・ジャパン逆襲のシナリオⅡ」
NHK スペシャル 「メイド・イン・ジャパン 小さな組織が世界を制する」
NHK 「新・ルソンの壺」
BS フジ「一滴の向こう側」(4 回シリーズ)
フジテレビ 「医龍 4」第 2 話/第 4 話
日本テレビ 「1 分間の深イイ話」
テレビ大阪 「夕刊 7 チャンネル」
テレビ東京 「カンブリア宮殿」
朝日放送 ニュース情報番組「CAST」
毎日放送 ニュース番組「VOICE」、「ちちんぷいぷい」
富士ゼロックス CM 「四次元ポケット PROJECT」
他多数

主な受賞歴

2011 年 関西 IT 百撰 最優秀賞
2011 年 KANSAI モノ作り元気企業 100 社入選
2012 年 京都中小企業技術大賞
2012 年 中小企業 IT 経営力大賞 優秀賞
2013 年 関西ものづくり新撰 2013 入選
2013 年 GOOD DESIGN 賞 2013 金賞
2013 年 第 5 回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞
2014 年 関西財界セミナー賞 2014 特別賞
2014 年 第 3 回 MEDTEC イノベーション大賞
他多数

プレス機械作業主任者技能講習のご案内

(公益社団法人 大阪労働基準連合会 主催)

労働安全衛生法第 14 条に基づく作業主任者の資格を取得するための講習会のご案内です。動力駆動プレスを 5 台以上有する事業所においては、技能講習を修了した者のうちから、作業主任者を選任し、その者に当該作業に従事する労働者の指揮その他の必要事項を行わせなければならないと定められています。

大阪金属プレス工業会では、毎年度、この講習を受講された会員様に、受講料の約半額（6,000 円）を負担させて頂いております。本年度は、来年 3 月 9 日（月）・10 日（火）に開催の講習会を対象とさせていただきますので、どうぞふるって受講されますようにお勧め致します。尚、講習会終了後に同連合会発行の「修了証」の写しに、振込銀行口座を明記の上、当会に F A X 頂くだけで結構です。

受講の申し込みは直接、大阪労働基準連合会へお願い致します。
お申込み要領、申込書は大阪労働基準連合会のホームページからご覧になれます。
尚、お申し込みは 12 月 10 日からとなっております。

(大阪労働基準連合会のホームページ) <http://www.daikiren.or.jp/>

又は大阪金属プレス工業会の H P トップページ右下にもリンクがございます

<ご不明点がございましたら当会へもお問い合わせ下さい>

(一社) 大阪金属プレス工業会
事務局 中西

TEL : 06-6762-8629

FAX : 06-6762-7633

E-MAIL : omsa1@omsa.or.jp

平成26年度

「プレス機械作業主任者技能講習」開催のご案内

大阪労働局長登録教習機関（登録第1号）
登録満了日 平成31年3月30日
公益社団法人 大阪労働基準連合会

本講習は、労働安全衛生法第14条に基づく作業主任者の資格を取得するための講習です。
次の要領で「プレス機械作業主任者技能講習」を開催しますので、この機会に、是非受講
されますようご案内いたします。

- 1 受講資格 プレス機械による作業に5年以上従事した経験を有する者
(シャー、鍛造プレス・型打ち機等を除く)

※経験については、事業者の証明と本人の確認（記名・捺印）が必要です。
「事業者」とは事業を行なう者で、労働者を使用するものをいう。従いまして、事業者
証明は事業場を代表する者（社長、支店長、工場長、市長等）または業務経歴を管理する
部門の長（人事部長・総務部長等）、個人企業にあたってはその事業主個人の職名・氏名
で行ってください。

- 2 講習月日・受講料 *斜線の引いてあるものは既に定員に達し締め切っております。

平成26年5月12日(月)～平成26年5月13日(火)	平成26年9月29日(月)～平成26年9月30日(火)
平成26年12月4日(木)～平成26年12月5日(金)	平成27年3月9日(月)～平成27年3月10日(火)

●受講料（テキスト代含む）

12,312円

内訳【受講料10,000円・消費税800円、テキスト代1,512円（税込）】

※講習受付開始日は、講習実施月の3か月前の10日です。

ただし、10日が当会の休業日である土曜、日曜、祝日にあたる場合は、
翌平日が講習受付申込開始日となります。

- 3 講習科目及び時間 ※時間割は都合により振替わることがあります。

講習日程	時間割	科目
第1日目	9:00～15:00	プレス機械の種類と構造・機能 安全囲いと安全装置の種類と構造・機能
	15:10～17:10	金型の安全化 金具の取り付け、調整および取外し作業
	17:20～19:20	労働安全衛生法における事業者と作業主任者 プレス作業の災害防止の基本的な考え方 関係法令
第2日目	9:00～14:00	プレス機械、安全装置の保守・点検 安全なプレス作業 作業手順の作成と周知徹底 作業環境の整備
	14:10～16:10	手工具の種類とその活用 材料の送給装置及び製品の取り出し装置
	16:20～17:25	修了試験

- 4 講習会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 南館11F 大基連講習会場
大阪市中央区石町2-5-3
☎06-6942-7401
* 地下鉄・京阪電鉄天満橋駅下車、西へ300m

- 5 定員 100名(定員になり次第締め切ります)

- 6 修了証の交付 所定の科目を受講し修了試験合格者に、最終日にお渡しします。

平成26年度セミナーのご案内

もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型

－「当たり前を再度見つめ、考えてみる」－

プレス加工は生産性が非常に高く、高精度の製品を大量にしかも安価に作れるといった優れた特性を持っており、機械・金属製品製造業において重要な産業技術の一つとなっています。ノウハウや経験が大いに物を言うプレス加工ですが、良い製品を作るためには加工の原理をきっちりと理解することが求められます。

本セミナーでは、基本となるせん断・曲げ・絞り加工を中心に取り上げ、それらの原理、特徴についてしっかりと学んでいただきます。さらに、プレス機械や金型に関する知識、トラブル事例を交え、実践にも役立つ内容に焦点をあて、わかりやすく解説いたします。

主 な 内 容	1. プレス機械の機構、動作原理を知る (1)プレス機械の能力を表す3つの要素 (2)加工に応じたプレス機械の選定 2. プレス加工の種類と特徴 ～代表的な加工方法の基礎について理解を深める～ (1)せん断加工 (2)曲げ加工 (3)絞り加工 (4)加工する材料の特性をどのようにして考慮するか (5)プレス作業における段取り、自動化、安全 3. 金型の機能と各金型部品の働きを理解する 4. プレス加工時のトラブル対策事例		
日 時	平成27年3月13日(金) 9:20～16:20 (会場受付:9:10～)		
対 象 者	現場のリーダー及び現場従事者		
参 加 費	会員 4,000円 一般 8,000円	定 員	40名(先着順)
講 師	小渡 邦昭 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター		
場 所	高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪高齢・障害者雇用支援センター 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-4-11 クラブウアネックスビル 3 階 TEL 06-4705-6927 FAX 06-4705-6928 地下鉄堺筋線堺筋本町駅 11 番出口 徒歩 1 分 地下鉄御堂筋線本町駅 12 番出口 徒歩 7 分		
主 催	高度ポリテクセンター 一般社団法人日本金属プレス工業協会 一般社団法人日本金型工業会		
申 込 み 方 法	裏面の参加申込書にてFAXでお申し込みください。		



参 加 申 込 書 (H26 年度)

(大阪金属プレス工業会) 3/13 大阪会場
セミナーについて、次のとおり申し込みます。

平成 年 月 日

セミナー名	もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型
-------	----------------------

企 業 名		所属団体 (✓して ください)	☐ (一社) 大阪金属プレス工業会 ☐ (一社) 日本金属プレス工業協会 ☐ (一社) 日本金型工業会 ☐ 一般 (上記以外)
所 在 地	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	
	E-mail		
ふりがな	部署名		
申込者氏名			

参加者氏名	ふりがな	部 署 名

申込方法: **FAX (043-296-2585)** にてお申し込み下さい。

- ※注1 受付は先着順とし、定員になりしだい、締切とさせていただきます。
 ※注2 受講料のお振込み先や受講票等は、開催の約1か月前に送付いたします。
 ※注3 1コースあたり6名様以上のお申込みをされる際は、申込書をコピーしてご利用ください。
 ※注4 参加費は1コース1名につき主催団体会員 4,000 円、一般 8,000 円となっております。

<お問い合わせ先> 高度ポリテクセンター 事業課 TEL: 043-296-2582 一般社団法人大阪金属プレス工業会 TEL: 06-6762-8629	<処理欄>
---	-------

働くあなたと企業の人材育成を応援します！

基礎から学ぶ 機械製図・測定実践技術

コース番号：M9501

講習内容

大阪金属プレス工業会専用です

1. 概要

このコースは、JIS規格に対応した機械製図に関する知識と技能を習得し、図面に記載されている寸法と製品を比較する手段として、一般に現場で使用されている測定器の読み方と扱い方について習得します。



2. 対象者

機械製図の基本を理解し、実践的な測定法の習得を目指す方

3. コース内容

1日・2日目 JIS規格に対応した機械製図法

【内容】 1. 投影法・図形の表し方

2. 寸法記入法

3. 寸法公差について

4. 表面性状について

3日目 測定器の読み方・扱い方

【内容】 1. ノギスの理論

2. ノギス・ハイトゲージの読み方・扱い方

3. マイクロメータの理論

4. マイクロメータ・三点マイクロの読み方・扱い方



日程

平成27年3月12日(木)～14日(土)

9時15分～17時00分

定員

12人

(定員に達し次第募集を締め切ります)

場所

ポリテクセンター関西

摂津市三島1-2-1

大阪モノレール「摂津駅」下車 徒歩7分

摂津市役所すぐ横

受講料

10,000円

(テキスト代含む。消費税込。)

在 職 者 訓 練 受 講 申 込 書

関西ポリテクセンター 在職者訓練担当係 宛

※お申込みの際には必ず一読ください

□お申し込みはFAXでの受付となります。この申込書をプリントしてご利用ください。

□コース開始日の前月上旬に「受講料振込用紙」「受講票」を送付します。

□コース開始日の14日前(土日祝日を含む)までに郵便局にてお振り込みください。

□コース開始日の14日前(土日祝日を含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。

□キャンセルされる場合は、受講の可否をお知らせした用紙(受講決定通知書等)にキャンセルの旨を大きく記して必ずFAXにてご連絡ください。

□納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。

※申込内容※

平成 年 月 日

1、受講申込コース

コース名	コース番号	コース 開始日	フリガナ 氏 名	(西暦) 生 年 月 日	備考 (人)
基礎から学ぶ 機械製図・測定実践技術	M9501	月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	

【個人情報の取扱いについて】

- ・申込時の個人情報は、お客様のセミナー受講に係る連絡、事務手続き(受講申込書、受講票、書類送付、受講者名簿作成、修了証書発行、修了台帳作成)及び当施設からの情報提供以外に使用いたしません。

2、記入者情報

貴 社 名				ID (センター記入欄)	
貴社所在地	〒				
電話番号等	TEL		FAX		
	メールアドレス				
担 当 者 名	(担当者名)		(所属部署)		
企 業 規 模	□(1~29) □(30~99) □(100~299) □(300~499) □(500~999) □(1000人以上)				
業 種			受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示 による受講(※)	2. 個人で自己受講

※ 受講区分の「1.会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の担当者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

【お問合せ先】 ポリテクセンター関西 事業課 TEL 06-6383-0064

【交通案内】 <http://www3.jeed.or.jp/osaka/poly/center/access.html>

優
秀
企
業

世界のものづくり革新をリードするオムロン

海外でも欧州、北米、アジア、中国を中心に世界80カ国で事業展開
〔ファクトリーオートメーションで国内最大手(シェア40%)〕

工場見学研修会～オムロン(株)草津工場へご案内～

山田義仁社長 メッセージ	グローバルな社会課題の解決に向けて、果敢にチャレンジし、人々から必要とされる企業を目指します。
社 憲	われわれの働きでわれわれの生活を向上し、よりよい社会をつくりましょう。
企業理念	オムロングループの存在意義とその存在意義に相応しい企業活動を実現するためにオムロングループ構成員一人ひとりが共有すべき価値観と方針をさだめるものです。(企業は社会の公器である)
コアコンピタンス (企業固有の強み)	工場の自動化により、生産性・品質の向上、制御機器・FA システム事業はあらゆる製造現場の生産性向上を担うべく、FA 用コントロールからセンサ、スイッチ、リレー、セフティ機器まで 10 万仕様を越える豊富な製品を提供している事業です。

平成 27 年 3 月の OMA 見学研修部会は滋賀県草津市にある制御機器大手(電子部品や車載部品、健康器具を手掛ける)オムロン(株)草津工場を見学研修します。
変革の時代を乗り切るために「現場・現物・現実」からの発想が必要です。更に企業が当面している重要課題の取り組み状況について幹部の方からお話を聞くことにより、オムロンの「コアコンピタンス」(企業固有の強み)を理解することができます。
この趣旨から、この見学会は見逃せないと思います。
30 名限定です。お早くお申込み下さいますようお願い申し上げます。

見学内容

30 分 幹部挨拶と会社概況、
工場長・足立義博氏
60 分 工場見学
30 分 質疑応答

[注]JR 草津駅⇄見学先間、
タクシーで往復ご利用頂きます。

記

- 日 時：平成 27 年 3 月 17 日(火) 14:00～16:00
- 会 場：オムロン(株)草津工場 滋賀県草津市西草津 2-2-1 [TEL077-563-2181 (代表)]
(オムロン草津事業所オートメーションシステム統轄事業部)
- 集 合：J R 東海道線草津駅下車 東改札出口に 13 時 30 分までにご集合下さい。(当協会旗が目印)
【注】ご参考：J R 上り東海道線 近江塩津行(新快速)大阪駅発 12:30 分、草津駅着 13:20 分です。
なお、草津駅東改札口で集合、タクシーにて見学先を訪問します。
- 案内役：小 島 薫二(小島経営事務所 所長、当協会常任理事、事業推進委員長 経営能率技師)
菊 本 辰道(経営革新研究所 代表、経営能率技師)
竹 内 享美(大阪府中小企業労務改善集団連合会 事務局長)
井 上 巍(当協会 見学研修部会副長、経営能率技師)
- 参加費：2,000 円(会員外 2500 円)(当日、集合場所にて申し受けます。) 以上

ご参加ご希望の方は下記ご記入のうえ、ファックス又は E-mail(oma@crux.ocn.ne.jp)でお申込み下さい。
過去に参加され登録されておられる方はご氏名だけの記入で結構です。

一般社団法人大阪能率協会宛 平成 27 年 3 月 17 日(火) 見学研修会参加申込書
Fax 06-6948-5666 出席 または 欠席(どちらかに○をつけてください)

貴社名	ご参加者氏名	OMA 紹介者
	所属部門(役職)	
ご住所：(〒 -)		
TEL	E-mail	
FAX		

お問合せ：(一社) 大阪能率協会 大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか 6 階 (TEL: 06-6941-2709)

大阪府内の最低賃金

大阪府最低賃金	時間額（発効年月日）	適用の範囲
	838 円 (平成26年10月5日)	大阪府内の事業場で働くすべての労働者とその使用者

産 業	時間額（発効年月日）	適用が除外される方
塗 料 製 造 業	880 円 (平成26年10月31日)	次の業務に主として従事する方 (1) ラベルはりの業務 (2) 手作業による空き缶及びふたの取りそろえ並びに充てんラインへの送給、包装、箱詰め、袋詰め、こん包又は18リットル缶未満の充てん製品運搬の業務
鉄 鋼 業	876 円 (平成26年11月7日)	(1) 18歳未満又は65歳以上の方 (2) 雇入れ後3月未満の技能習得中の方 (3) 清掃又は片付けの業務に主として従事する方
はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、暖房・調理等装置、配管工事用附属品、金属線製品製造業、船舶製造・修理業、船用機関製造業	862 円 (平成26年11月13日)	
自動車・同附属品製造業	860 円 (平成26年11月30日)	
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	840 円 (平成26年12月6日)	
非鉄金属・同合金圧延業、電線・ケーブル製造業	840 円 (平成26年12月14日)	次の業務に主として従事する方 (1) ワイヤーハーネスの製造に係る業務のうち、手工具若しくは小型動力工具を使用して行う組線、取付け、かしめ又は刻印の業務
自動車小売業	850 円 (平成26年12月11日)	

- ◎ 各種商品小売業最低賃金は平成26年9月28日をもって廃止されました。
 ◎ 発効日当日の賃金から、上記の最低賃金額以上の賃金を支払う必要があります。
 ◎ 裏面もご参照ください。

★ 中小企業事業主の方へ（悩める経営者のチカラになります）

詳細は裏面の「ワン・ストップ無料相談のお知らせ」をご覧ください！

大阪労働局

労働基準部賃金課	06-6949-6502	東大阪労働基準監督署	06-6723-3006
大阪中央労働基準監督署	06-6941-0451	岸和田労働基準監督署	072-431-3939
大阪南労働基準監督署	06-6653-5050	堺労働基準監督署	072-238-6361
天満労働基準監督署	06-6358-0261	羽曳野労働基準監督署	072-956-7161
大阪西労働基準監督署	06-6531-0801	北大阪労働基準監督署	072-845-1141
西野田労働基準監督署	06-6462-8101	泉大津労働基準監督署	0725-32-3888
淀川労働基準監督署	06-6350-3991	茨木労働基準監督署	072-622-6871

一般社団法人 大阪金属プレス工業会



mail:omsa1@omsa.or.jp

<http://www.omsa.or.jp/>



〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06) 6762-8629

FAX (06) 6762-7633